

タイトル		日本における先祖観の研究 ―古来の先祖観とその変容―		
分野	キーワード	①先祖	②祖霊	
人文学				
研究者氏名: 中里 巧 (所属: 文学部哲学科)		[お問い合わせ先] TEL: 03-3945-7483 (東洋学研究所) メールアドレス: toyogaku@toyo.jp (東洋学研究所)		

**【概要】**

日本における古来の先祖観(家にまつわる先祖、共同体における集会的存在としての祖霊)の考察および現代における先祖観の位置づけを探求する。東洋学研究所の研究所プロジェクト。

**【研究内容】**本研究は、戦後の家族形態の変化による先祖に対する意識の変化、各地で行われている先祖供養の行事への過疎による影響に鑑み、日本における先祖のあり方を考察し、現代日本の都市生活において失われつつある先祖とのつながりをあらためて問いなおすことを目的とする。研究方法としては、日本古来伝えられてきた先祖観および霊魂観を把握し、また世界観として、先祖の居所の観念を



三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区  
の、家庭に来ていた靈魂を海へ送  
る盆行事「おどり送り」

探究する。そして、現代日本の先祖観のあり方を北方民族の祖霊観との比較、古来の先祖観との比較、地域社会における先祖供養のあり方から理解する。

そして、『万葉集』を中心とした上代文学における靈魂観、謡曲にみる靈魂観、地域社会における先祖供養の考察、先祖の居所としての常世の研究、といった役割分担のもと、文学・社会学・哲学の立場から各研究者が分担



網走市立郷土博物館分館  
モヨロ貝塚館における、オ  
ホーツク文化人の埋葬の  
展示

課題における研究を進め、その成果を研究者間討議やパネルディスカッションでの討議において相互に検討し、各分野の研究成果についての総合的把握を行う。

本研究は平成25年度より3年間の計画で行われる予定で、成果発表と討議の場としてのパネルディスカッション、学外の研究者を講演者に招いての公開講演会を開催する予定である。

**【実用化・活用が見込まれる分野・対象業種等】**

葬儀業教育事業、生涯学習事業

**【関連特許】(特許名称・出願番号等)**